

2024年10月11日

報道各位

ニューホライズンキャピタル株式会社

株式会社常光への投資実行について

ニューホライズンキャピタル株式会社（本社 東京都港区、代表取締役 安東 泰志）が運営するニューホライズン4号投資事業有限責任組合（以下総称して「弊社」）は、10月4日付で株式会社常光（本社 東京都文京区、代表取締役 服部 直彦、以下「常光」）への投資を実行いたしましたのでお知らせします。

常光は「科学文化の発展に貢献します」という揺るぎない信念のもと、1947年に創業しました。以来、北海道において、医療機器の調達、配送、在庫、適正使用支援、アフターサービス等を担う医療機関にとって欠かせない事業パートナーとして、地域に根差した医療機器ディーラー事業を運営し、顧客から高い評価を集めて今日まで業容を拡大してきました。1963年に当時血液検査手法として先端技術であった電気泳動装置の開発に成功し、1985年には科学技術庁長官賞受賞、2007年には「元気なモノ作り中小企業300社」、さらに2018年には経済産業省の「地域未来牽引企業」に選出される等、新たな技術・製品を創り出すメーカーとしても高く評価されています。また、近年では同社のナノテク事業において、次世代のリチウムイオン電池の導電補助剤として期待されているカーボンナノチューブの分散に適したホモジナイザーを開発し、今後の更なる成長が見込まれています。

このように常光は医療機器ディーラー事業だけでなく、メーカー事業やナノテク事業を併せて展開する独自のポジショニングを有するプレイヤーです。弊社は、同社の既存事業の絶え間ない改善（知の深化）と新規事業のブレイクスルーに向けた実験と行動（知の探索）を実現する一貫した全社戦略を支援してまいります。また、本件は北海道地域の医療整備と日本の科学技術発展に貢献している社会的意義の大きい地域企業への投資であり、弊社が掲げる「意義ある投資」に合致するものであると判断し、投資実行に至りました。

なお、新組織体制においても、代表取締役社長は服部直彦氏が続投いたします。また、従来の取締役に加えて、弊社から新たに非常勤取締役及び非常勤監査役を数名派遣しております。

以上

ニューホライズンキャピタル株式会社について

2002年2月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から、2006年10月の会社分割を経て、通算22年超の実績（独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額2,700億円超）を誇る。現在は、NHCとして6本目、創業から10本目のファンドを運営中。2002年以来、すべてのファンドの創設時にキーマン（主運用責任者）をつとめてきた安東泰志をはじめとするNHCのチームメンバーは、フェニックス・キャピタルにおいて、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ等、また、ニューホライズン1号から4号ファンドにおいても多数の投資を実行し、ハウステック、シバウラ防災製作所、昭和コーポレーション、NITTO、平世美装等、開示可能なエクイティー投資先だけで約50社、全体では100社超の日本随一の投資実績を有する。

この件に関する問い合わせ先（弊社広報担当）：

インターナショナル・ファイナンシャル・コンサルティング株式会社

竹江、高杉 連絡先：03-5532-8921